

学校概要

創立	1 周年	学校長 鈴木 拓哉	副校長 池田 ゆかり	学期	3 学期制	児童・生徒数	482 人
学級数 一般級: 14 個別支援級: 3				主な関係校: 上郷小学校 庄戸小学校			

学校教育目標

互いに学び合い、確かな学力をつけよう (知)
 互いに支え合い、違いを認め、思いやりを持とう (徳)
 健やかな心と体を育もう (体)
 社会の一員としての自覚を持ち、行動しよう (公)(開)

学校の特色

自然に囲まれた静かな住宅街の中に位置し、良好な教育環境にある。
 平成27年4月1日に庄戸中と上郷中が統合して、新たな上郷中として開校した2年目の学校である。

学校経営中期取組目標

- * 「わかる」「できる」「楽しい」授業づくりを推進し、学力の向上を図ります。
- * 生徒一人ひとりを徹底的に大切する、きめ細やかな指導を継続し、学校が生き生きと過ごせる場となるようにします。
- * 家庭・地域・小中一貫教育推進ブロックとの絆を深め、共に学び、共に育つ学校づくりを推進します。
- * 生徒と職員・保護者と職員・地域と職員そして職員同士の信頼関係を深め、活気ある学校づくりを推進します。
- * 統合により学区が広がり、関わる地域も広がったが、引き続き地域に根差した愛される学校を目指します。

小中一貫教育の取組

上郷中学校	ブロック	上郷中学校 上郷小学校 庄戸小学校
9年間で育てる子ども像	明るく健康的で礼儀正しさや他を思いやる心を持つ子ども。 地域との関わりの中で、いろいろなことを積極的に学ぶ姿勢を持つ子ども。	
自校の具体的取組	小中学校間で学習指導や生活指導の円滑な接続を大切にする。 小中一貫した学校スタンダードを作成し、これをもとに9年間で子どもを育む体制を確立する。 小中合同授業研究会を実施し、お互いの良さを検証しながら授業力の向上を図る。	

重点取組分野	取組目標	具体的取組
確かな学力	「わかる」「できる」「楽しい」を意識し、基礎・基本の確実な定着を図る。 言語活動の充実を図り、思考力・判断力・表現力を高める。	校内授業研究会等による、指導方法や授業の改善と、魅力ある分かりやすい授業を展開する。 毎日の授業による、基礎的な学力と学習習慣を定着を図る。 計画的な資料の収集と評価活動の工夫による評価・評定への信頼性を向上する。
豊かな心	すべての教育活動を通して、自他の人権を尊重し、集団の中で自らの存在を自己確認できる生徒を育成する。	生命を尊重し、他者や自然との関わりを意識した道徳教育を充実する。 道徳や学活等、あらゆる場面を通じた集団生活における規律の意義や基本的な生活習慣の定着を図る。 違いを認め、他者の人権や多様な文化を尊重できる豊かな心情を育成する。
健やかな体	心と体を一体としてとらえ、運動や健康・安全についての理解と実践を通して、運動に親しむ資質や能力を育てる。	健康診断やスポーツテスト、学校保健委員会等の活用による健康で安全な生活や規則正しい食生活を通じた健やかな心と体の育成をする。
特別支援教育	特別に支援を必要とする生徒一人ひとりについて把握し、職員の共通理解を図り、指導に生かす。	様々な場面を通じて学校におけるユニバーサルデザイン化を推進する。 不登校生徒への適切なアプローチとスクールカウンセラーとの連携を図る。 一般級に在籍する特別な支援を要する生徒の個別指導計画の充実を図る。
生徒指導	相談活動を充実させて、信頼関係づくりに努め、生徒理解に努めるとともに、一人ひとりの課題を把握し、指導に生かす。	生徒理解を中心に据え、生徒の内面の変化をつかみ、自己実現をうながす教育相談の充実。生徒会活動を中心とした、専門委員会、集会等の充実を図る。 自然体験、職場体験、福祉体験等の体験活動の充実を図る。 生徒の意欲向上や責任感、連帯感の育成に資する部活動の充実を図る。
地域連携	地域行事への生徒の参加を推奨し、地域の一員としての意識を高める。 学校の活動や取組の様子が伝わるように発信の仕方を工夫する。	小中の授業交流、体験交流、研修等、生徒・教職員・PTAの交流の機会を拡大する。 学校情報の積極的な発信をする。(学校便り・ホームページ)
キャリア教育	横浜マイスター体験や職業体験を実施し勤労観や職業観を育てる。 自らが主体的に選択する進路のための適切な資料を提供する。	1年生では横浜マイスターに認定されている方々の匠の技に触れる機会を設け、2年生では職業体験を実施するとともに、体験場所の充実を図る。 3年生では、保護者(家庭)意向も尊重しつつ、生徒が主体的に進路選択に臨めるよう、進路選択のための情報を積極的に発信する。
人材育成・組織運営	風通しの良い職員集団を形成し、若手職員に中堅・ベテランが関わりながら、教職員が積極的に学校運営に参画する体制を確立する。	・いじめ等の今日的課題に対して、計画的な研修を実施し、教師の力量を向上する。 ・メンターチームを充実させ、若手職員の学習指導・生活指導の実践力を高める。 ・組織と個人の目標を連動させ、教職員が学校運営に参画する体制を確立する。 ・組織の効果的運営とミドルリーダーの育成を目指し、学年連絡会を充実する。